

## 森田校長の補教指導案（超略案）NO1 3

- 1 単元名 自分で植物に名前をつけてみよう！
- 2 ねらい 植物の花・葉・茎などを観察し、自分で名前をつけながら植物の特徴を知る。
- 3 展開

	学習活動	○留意点 ○評価など
始	1 野外で知っている植物の名前を発表する。	○草花遊びなどの生活経験を思い出させる。
中	2 植物の名前の由来などについて聞き、興味関心を高める。 3 植物名前つけゲームの方法を知る。 4 ①～⑩までの植物の茎、葉、花の特徴を観察し、自分で5つ以上選び命名する。 5 自分でつけた名前を友達と情報交換する。 6 どんな名前がつけられたかの発表会をする。 7 お気に入りの植物を採集し、押し花にする。	○カエデ、タケ、ネジバナ、アカネなど、名前の由来となる絵や写真を見せる。 ○名前つけカードを配布する。 ○進んで意欲的に活動しているか。  ○進んで情報交換しているか。 ○自分の自慢できるものを発表する。 ○ビニル袋に採集させ、その後、押し花にしてから教室に掲示する。
終	8 学習の振り返りをする。	○進んで楽しく命名活動ができたか。

- 4 その他・準備するものなど

植物名前つけカード、①～⑩までの番号札、カエデ、タケなどの写真や絵など

## 森田校長の補教指導案（超略案）NO1 4

- 1 単元名 葉っぱのグループ分けを楽しもう！
- 2 ねらい 葉っぱを観察し、自分たちで仲間分けの観点をつくり、葉のグループ分けを行い多様性に気付く。。
- 3 展開

	学習活動	○留意点 ○評価など
始	1 葉っぱにはどんな形があるか思い出す。	○葉っぱで特徴のあるものを事前に校庭で調べておく。
中	2 珍しい葉っぱ、おもしろい葉っぱ、お気に入りの葉っぱゲット作戦を行う。 3 一人7枚のいろいろな葉っぱを集める。  4 自分で集めて葉を友達と見せ合う。 5 葉っぱ比べと葉っぱ自慢をする。 6 班の人で葉を集め、似ているものをグループ分けする。 7 どんな観点が分けたか発表する。	○事前に危険な植物がないか調べる。 ○種類の違う葉を時間内に採集させる。 ○進んでいろいろな葉を採集しているか。 ○採集の遅い子供には助言支援をする。 ○集めた葉を模造紙の上に乗せ、仲間分けの活動をさせる。 ○細い、丸い、ふわふわ、ギザギザなど、自分たちで仲間分けの観点を考える。 ○葉っぱの多様性に気付かせる。
終	8 学習の振り返りをする。	○葉の多様性に気付くことができたか。

- 4 その他・準備するものなど

草花遊び紹介のボード、ピンを班の数だけ用意